

# 長谷 範子

准教授

研 究 業 績

2021年11月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	『新時代の保育双書 保育内容 人間関係』（株）みらい 著者：長谷範子、濱名浩他13名 本人担当部分：第8章 「人間関係を結ぶ保育のあり方」（pp. 141～150、153）	2009年10月
著書（共）	『子どもの心の育ちと人間関係一人を育てるためのかかわりと援助ー』 保育出版社 著者：長谷範子、寺見陽子他38名 本人担当部分：Part7. 「個に寄り添うかかわりと援助」（pp. 126～127）、Study9. 「保護者の理解と関わりの基本」（pp. 140～141）	2010年4月
著書（共）	『プロとしての保育者論』 教育情報出版社 著者長谷範子、上野恭裕ほか28名 本人担当部分：（pp. 84～87）	2011年2月
著書（共）	『保育内容総論』 一藝社 著者：長谷範子、谷田貝 公昭他12名 本人担当部分：第8章 「保育者の観察と記録」（pp. 97～108）	2012年4月
著書（共）	『コンパス 保育内容総論』 建帛社、著者：長谷範子、咲間まり子他14名 本人担当部分：第14章 「保育内容の今日的課題と保育者の専門性」（pp. 115～122）	2016年9月
著書（共）	『乳児保育』 教育情報出版 著者：長谷範子、入江慶太他22名 本人担当部分：3章3節3歳未満児を中心に据えた職員間の協力（pp. 40～43）5章5節生後6か月～1歳未満児の自我と社会性の発達と保育（pp. 89～91）	2018年9月
著書（共）	『新保育ライブラリ 保育所実習【新版】』 北大路書房 著者：長谷範子、民秋 言他15名 本人担当部分：「教材の用意」「保育指導案（例）」 （pp. 85～86、pp. 134）	2020年3月
著書（共）	『新保育ライブラリ 保育の計画と評価』 北大路書房 著者：長谷範子、北野幸子他22名 本人担当部分：「第9章多様な保育の計画と保育評価」（pp. 131～140）	2021年3月
著書（共）	『コンパス 保育者論』	2021年3月

	建帛社、著者：長谷範子、米谷光弘他 8 名 本人担当部分：「第 7 章 保育者の資質向上とキャリア形成」 (pp. 87-101)	
論文 (単)	『幼児の対人葛藤場面における行動変容と保育者のかかわりに関する一考察』 四天王寺国際仏教大学研究紀要第 47 号 (pp. 173~187)	2003 年 3 月
論文 (単)	『保育者養成における保育内容の学びと保育実践—保育内容・人間関係についての課題—』四天王寺大学教育研究実践論集 第 3 集 (pp. 55~62)	2017 年 3 月
論文 (単)	『「主体的・対話的で深い学び」と子ども理解についての一考察』 福祉と人間科学第 28 号 (pp. 51~58)	2018 年 3 月
論文 (単)	『新任期の保育者の育ちを支える保育カンファレンスの検討』 四天王寺大学 教育研究実践論集 第 5 集 (pp. 19~29)	2018 年 3 月
論文 (単)	『子どもの権利と保育—保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針の検討から—』 四條畷学園短期大学紀要、第 52 号 (pp. 69-76)	2019 年 12 月
口頭発表 (単)	『学級崩壊と保育所の役割』日本保育学会	2004 年 5 月
口頭発表 (単)	『生きる力の基礎を育む保育』日本保育学会	2005 年 5 月
口頭発表 (単)	『保育士養成における施設実習指導の工夫』全国保育士養成協議会研究大会	2005 年 9 月
口頭発表 (単)	『子育て支援から保護者との共同へ』日本保育学会	2006 年 5 月
口頭発表 (単)	『母親に対する育児支援 —子育て支援事業における母親アンケートから—』 日本教育心理学会	2007 年 9 月
口頭発表 (単)	『保育学生の子どもイメージに関する一考察』日本保育学会	2008 年 5 月
口頭発表 (単)	『援助者のナラティブ～保育士養成の現状と課題～』日本臨床教育学会	2013 年 9 月
口頭発表 (単)	『韓国における乳幼児の保育内容と方法』日本保育学会	2014 年 5 月
口頭発表 (単)	『保育士養成の現状と課題』武庫川臨床教育学会	2014 年 7 月
口頭発表 (単)	『韓国における就学前教育—「ヌリ課程」の実施とかかわって—』日本保育学会	2015 年 5 月
口頭発表 (単)	『保育専門職の保育内容と保育制度における保育イメージの乖離についての検討と保育者養成と実習施設の連携の課題』 日本臨床教育学会	2015 年 9 月
口頭発表 (単)	『子ども理解を深めるための保育カンファレンスに関する一考察』日本保育学会	2016 年 5 月

口頭発表（単）	『保育者の専門職性の育ちと保育プロセスカンファレンス』 日本保育学会	2017年5月
口頭発表（単）	『保育士養成と教員の学生理解』 武庫川臨床教育学会	2017年7月
口頭発表（単）	『「現在（いま）」に生きる子どもの育ちをとらえる力の構築に関する研究 —ニュージーランドのナショナルカリキュラム「テファリキ」の理念を手掛かりとして—』 日本臨床教育学会	2017年9月
口頭発表（単）	『保育実践の評価の方法についての研究—子ども理解の保育実践カンファレンス—』 日本保育学会	2018年5月
口頭発表（単）	『保育者の子ども理解と評価の視点—日本と ニュージーランドの比較から—』 日本保育学会	2019年5月
口頭発表（単）	『保育とは何か —子どもの発達援助と保護者と協働する保育の創造—』 日本臨床教育学会	2019年10月
口頭発表（単）	『保育者の子ども理解と評価の視点 —日本と ニュージーランドの比較から—』 日本保育学会	2020年5月
口頭発表（単）	『保育専門職の質の向上に関する研究—保育施設における職員構成の視点から—』 日本保育学会	2021年5月
	『子どもの育ちを支える就学前の教育・保育施設と家庭の役割の変化—保育所保育指針・幼稚園教育要領の改訂を手掛かりとして—』 日本家庭教育学会	2021年8月
口頭発表（共）	『難治性小児喘息児童のストレスマネジメントに有効な園芸プログラムに関する研究』 日本発達心理学会	2010年3月